



発行責任者 柳 利夫
 住所 東村山市萩山町5-6-26-301
 Tel. 0423-92-8808
 編集者 川村 英明

東村山市民テニスクラブ協議会 第6回定期総会報告

去る2月5日(日)東村山市民テニスクラブ協議会第6回定期総会が東住宅5号棟集会所にて開催され、新入部員をまじえ実出席者34名(委任状を除く)、長井庸二議長を連日各事項を審議した結果、下記の通り万場一致で承認されました。

I. 開会挨拶および52年度一般報告(柳 会長)

新入部員を加え総員170名近くになり、いよいよ東村山市民テニスクラブ協議会としてこの地域にしっかりと根をおろしました。これは一般市民に当クラブの存在およびその活動が認められたもので、市外よりの加入希望もあった程でした。52年度は新たに青葉クラブを発足させ底辺の拡大をはかり、会則の制定、各専門部の充実により、組織活動も不十分ながら前進しました。東村山市硬式庭球連盟へ理事7名を送り積極的協力によりその強化に成果をあげました。従って、市体協との連携もよくなり、11月には柏崎市体育団(東村山市体協と姉妹提携)の選手団を迎えての交流対抗試合の成功は私たち市民クラブ抜きでは全く出来得なかった行幸だと思えます。市営コートの拡充のための活動も進めておりますが、5月には久米川町に市営コート4~5面がオープンする予定です。3回にわたる合宿、硬庭連主催の春秋の各種大会、太田杯争奪戦の団体戦、対外試合等に参加し、大いに技を練りました。またこれからは、私どもの子弟のためにもジュニアの練習方法などを考えたく思っております。

II. 各専門部報告

1. 技術部報告(武谷部長)

52年度の技術部の基本方針は次のようなものでした。

- ① 定期練習 ② 技術指導者の育成 ③ クラブ内の試合の記録分析 ④ クラブ員の技術指導 ⑤ テニスの知識の普及 ⑥ 講習会および各大会への参加

定期練習については初心者、初級、中級以上と3区分し、それぞれに適した練習方法が概ね定着しました。またクラブ別、時間別練習を試行し、技術ノート作成、ジャッジ・ペーパーの作成がなされ、技術部会の定例化

が定着しました。講習会への参加、月末の試合等も実施しました。しかし、万針通り実施出来なかったものもあり、新年度はいっそう充実させる方針です。

2. 広報部報告(国川部長)

広報部といっても部員はなく、「ガット」の発行も2カ月に1回の発行予定が遅れ勝ちで、また全会員への配布方法も確立されず、配布されるのに日数がかかりました。後半に至り各クラブより広報部員を送出してもらい、漸く編集会議がもてるようになりましたので、新年度は十分なる活動を期しております。

3. 会計部報告(高瀬部長)ならびに会計監査報告(筑紫会計監査)

会計の仕組み(帳簿等)の説明のうち、下記52年度決算報告について補足説明がなされました。また、筑紫会計監査より「この決算報告は間違いなく、適正妥当なものである」との報告があり、全員一致で承認されました。

東村山市民テニスクラブ協議会決算報告(1977.4~12)

	項目	予算	決算	備考
収 入	前年度繰越金	366,000	366,616	
	会費	326,000	496,241	
	雑収入		4,878	受取利息
	合計	692,000	867,735	
支 出	コート代	235,000	239,600	内、外都コート使用料15,400
	ボール代	90,000	59,900	セットボール122ヶ、15,100
	器具購入費	20,000	36,800	膝守板 17,600 カセット 7,600
	団体加盟費	42,000	48,000	硬庭連 12,000 新体連 18,000 x 2
	会議費	20,000	4,410	
	保険	8,400	8,550	
	技術向上費	100,000	17,490	新体連大会参加 7,200 指導者講習会補助 8,000
	親睦費	55,000	56,005	51年度迄年会 7,999 総会 10,228 77大会 15,780 52年度迄年会 26,444
	事務費	20,000	13,850	会員名簿 9,800 ノート代 3,050
	渉外費	30,000	40,000	新体連夏冬カンパ 20,000 (事務向員へ)
	広報費	50,000	9,750	
	予備費	21,600	21,600	
	合計	692,000	534,355	
残高			333,380	

Ⅲ. 人事

1. 各クラブの役員が長井議長より紹介されました。

(「カッター」NO. 11に掲載したとおり)

	東住クラブ	恩多クラブ	本町クラブ	青葉クラブ
会長	長井 庸二	浦川 親俊	阿辺川 貞夫	米田 寛
会計	桑原 剛	栗原 千枝子	桑原 まさ子	有川 栄子
広報	小林 師男	西原 正道	筑紫 孝	川村 英明
技術	長井 庸二	山本 豊	国川 哲男	米田 寛
	笹野 孝之	荒瀬 正彦	本保 俊昭	米田 道明
		宮崎 峰雄		
		増沢 一浩		
コート リ チーフ	A 森 とめ子 B 川島 恵美子	A 中根 和子 B 山口 悦子	A 鍵山 環子 B 楠神 俊彦	A 福山 久美 B 竹内 み子

2. 協議会役員承認

さきに運営委員会にて選出された53年度新役員は全員一致にて承認されました。

会長 柳 利夫(留任), 会計部長 高瀬 欣也(留任)
 事務局長 笹野 孝之(新任), 技術部長 武谷 直也(留任)
 広報部長 川村 英明(新任)

なお協議会会計として 木村美代子(留任) および
 会計監査 筑紫 孝(留任) の諸氏

Ⅳ. 昭和53年度活動方針ならびに予算案

1. 柳 会長

52年度の方針を踏襲し、更に活発なる活動を期して
 います。硬庭連の強化、新日本体育連盟への積極的な協
 力、市営新コートは自主管理ということなので之に対す
 る協力、市体協のトップ・バッターとして夏の対柏崎市
 との試合等への協力を期しています。

2. 武谷 技術部長

- ① 年間または6ヵ月単位の練習スケジュールをたてま
 す。
- ② 技術員同士の研修を試みてみたい。
- ③ 外部の指導者による講習会(2月に実施された房前
 テニス教室のように)
- ④ 他団体主催の講習会に積極的に参加していきます。
 また対外試合に極力参加します。
- ⑤ 現在実施中のクラブ別・時間帯別の練習はシーズン
 オフの間続けてみます。

3. 国川 広報部長代理

- ① カッター(機関紙)の発行は月1回(毎月1日付)定
 期発行します。

- ② 編集会議を毎月10日前後に定例化します。
- ③ 配布を迅速に行うため、コートなどで手渡しできな
 い人には郵送します。
- ④ 市民テニスクラブ協議会の活動が行政、他団体等に
 広く知られるよう働きかけます。
- ⑤ 他クラブと広報(機関紙)の交換

4. 昭和53年度予算 高瀬 会計部長

下記の予算案につき明細の説明とともに、各項目が前
 年の実績をふまえて編成されたこと、および各専門部の
 積極的な活動方針を反映して前年度に較べ大型化したこ
 とが説明されました。

1978(昭和53)年度予算(案) 1~12月

	項目	予算	備考
収 入	前年度繰越金	333,380	
	会費	1,169,700	150名×会費
	雑収入	20,000	
	合計	1,523,080	
支 出	コート代	400,000	
	ボール代	162,000	土・日・祝日ボール1缶放出 108回×1500
	器具購入費	30,000	
	器具購入 準備金	250,000	ビデオ装置一式、練習用マシン外 購入を目標しての積立
	団体加盟費	48,000	硬庭連 3,000×4ヶ月=12,000 新体連 18,000×2ヶ月=36,000
	会議費	48,000	
	保険	45,000	150名×300円
	技術向上費	300,000	大会等参加補助費 100,000 外部指導者講習会外 200,000
	親睦費	60,000	忘年会、合宿費補助
	事務費	20,000	
	渉外費	50,000	新体連会議等
	広報費	80,000	通信費 30,000, 紙代等 編集費 17,000 33,000
	予備費	30,080	
合計	1,523,080		
残高	0		

以上、活動方針案ならびに予算案の審議の結果、全員の賛
 成で承認されました。

Ⅴ. その他

- ◎ 3月に市営コート改修のため使えないので、全員協力
 して他のコート確保に尽力されたいとの要請がありまし
 た。
- ◎ 新入部員の紹介
 自己紹介した新入部員を拍手をもって歓迎しました。